

## 第6学年3組 特別の教科道徳 学習指導案

### 1 題材 「フィンガーボール」 B(7) 親切、思いやり

#### 構想

本学級は、授業に対して前向きに取り組む児童が多い。特に算数や社会などの答えが決まっている学習に対しては挙手・発言を行う姿が数多く見られる。また、授業中での話し合い活動にも進んで取り組んでおり、自信をもって自分の意見を伝えることができる。しかし、道徳の授業になると、自分の意見に自信をもって発言できる児童が少なくなる。また、普段の生活では、相手の気持ちを考えず、自分勝手に行動したり、落とし物を拾った際にわざわざ拾ってあげたことを伝えるなど、押しつけがましい態度をとったりする姿が見られる。この題材を通して、相手の気持ちを考えることや、さりげない優しさの大切さに気付くことができるようにしたい。また、児童が自分の価値観を大切にし、仲間と意見を伝え合えるようにと願っている。

「フィンガーボール」という題材は、指を洗うために用いられるフィンガーボールの水をお客様が誤って飲んでしまったことに対して、その用途を知っている女王様もお客様と同じようにフィンガーボールの水を飲むという話である。女王様のとった行動について考えていくことで、相手を思いやることの大切さや言わない優しさに触れることができるだろう。また、お客様と女王様の対一ではなく、対多数という場面でもあり、人数によって行動が変わるということも考えることができるだろう。相手のために考え、多数の前でも行動に移す女王様の姿から、思いやりの心や、失敗した人が何も知らない間に助けるという、最大限の気遣いに触れられる教材である。

初めに、フィンガーボールとフルーツを見せ、自分ならどんな順番で手を着けるかを問い、フィンガーボールの用途についておさえていく。実物を見せることで、学習に興味をもち、意欲を高められるだろう。次に、題材と出会い、疑問に思ったこと、感動したこと、気付いたこと、驚いたことなどを児童に問い、全体で共有し、一番多い意見を課題として設定し、授業を展開していく。意見を共有することで、全員で課題について考えていくという雰囲気を作ることができるだろう。展開の場面では、主に女王様の行動について考えていく。児童の考えとしては、「お客様に恥をかかせないため」という意見が多々出てくるであろう。それから、女王様がフィンガーボールの水を飲んだ際の周りの反応についてチームで考えていく。その際に、挿絵に吹き出しを入れたものを用意することで考えをまとめやすくすることができる。また、女王様とお客様以外の人物の思いを考えることで、対一ではなく、他者の視点もあるということが分かり、他者の目もある中で行動する女王様について、さらに深く考えることができるだろう。最後の発問で、本時の学習で新しく学んだことや、自分が第2、第3の女王様になるために実行したいことはと問うことで、自分ならどのような行動をするのかを考え、自分事として捉えていけるようにする。

本時の学習を通して、相手の立場に立って考えることの大切さや、言わない優しさもあるということを知り、修学旅行に向けてお互いに気を遣える思いやりのあるクラスにしていきたい。

## 2 本時の学習指導

### (1) 目標

女王様がお客様のためにとった行動から、親切や思いやりとはどういうことか考え、他人に対して親切でいようとする心情を育むことができる。

### (2) 言語能力を高めるための手だて

- ①学習の意欲づけのためにフィンガーボールとフルーツを用意する。
- ②女王様とお客様以外の人物の思考を考えることができるように、人物の挿絵に吹き出しを入れたものを用意する。
- ③周りの人の気持ちを考えることで、女王様の思いについて深く考えられるようにする。

### (3) 準備

- ① 教師 フィンガーボール、資料、吹き出しのついた挿絵
- ② 児童 ワークシート、資料

### (4) 展開

段階	児童の活動	教師の活動
導入 (7)	1 フィンガーボールの用途を知る。	・フィンガーボールの用途をおさえる。
課題 (3)	2 教師の範読を聞く。	・ <b>フィンガーボールとフルーツを見せる。</b>
	3 学習課題を把握する。	・範読し、本文で気になったところを問う。
展開 (30)	女王様はどのような思いでフィンガーボールの水を飲んだのだろう	
	4 女王様がフィンガーボールの水を飲んだ理由について考える。(全体交流)	・問い返しをしながら児童の意見を板書する。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様に恥をかかせてはいけません。</li> </ul>	
	5 お客様がフィンガーボールの水を飲んだ時、周りの人はどう思ったのか考える。(チーム学習)	・進んで考えを伝えようとしている児童を称賛する。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チームで考えることを伝える。</li> <li>・<b>周りの人の気持ちを考えらるるように、挿絵に吹き出しを入れたものを用意する。</b></li> <li>・<b>周りの人の気持ちを考えることで、女王様の行動をさらに価値づける。</b></li> </ul>	
整理 (5)	6 女王様がフィンガーボールの水を飲むまでの思考から人物像を考える。(全体交流)	・「お客様がフィンガーボールの水を飲み、自分もフィンガーボールの水を飲むまでにどのようなことを考えていたか」と問う。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・このままではお客様に恥をかかせてしまう。何とかしないと、相手の気持ちを考えているから、優しい人だと思う。</li> <li>・自分が恥をかいてでもお客様が恥をかかないために行動したので、思いやりのある人だと思う。</li> </ul>	
	7 間違えていることを伝えた方が良い場面と伝えない方が良い場面について考える。(全体交流)	・活動5で周りの人が考えていたことを踏まえて発表することを伝える。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習を踏まえて、女王様がどのような人物だったのかを問う。</li> <li>・理由も含めて発表できるように、話型を示す。</li> <li>・<b>UP「どんな場面は伝えた方が良くて、どんな場面は伝えないほうが良いのか」と問う。</b></li> <li>・困っている児童には、人数やその人との関係から考えると良いことを伝える。</li> </ul>	
	8 本時の振り返りをする。	・本時の学習で新しく知ったことやこれから実践していきたいことは問う。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>伝えた方が良い場面と、伝えない方が良い場面があることを知り、場面に合った方法を考えたい。</b></li> <li>・ワークシートに記入するように指示する。</li> </ul>	

(5) 評価

- ・女王様の行動について考える中で、相手を思いやることの大切さや言わない優しさに気付くことができたか。(活動5~8の発言・ワークシートの記述から)

3 板書計画

<ul style="list-style-type: none"><li>・使い方がちがう</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・フィンガーボールの使い方を知らないのかな</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・指を洗う水なのに</li></ul>	<p><b>女王様</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・お客様に恥をかかせてはいけない。</li><li>・フィンガーボールの使い方を教えるのを忘れてたから責任をとって飲んだ。</li></ul> <p><b>周りの反応</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・失礼だ。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・女王様が水を飲んだところ。・お客様が間違えて水を飲んでいた</li></ul> <p>女王様は、どのような思いでフィンガーボールの水を飲んだのだろう</p>
<ul style="list-style-type: none"><li>・やばい、どうしよう</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・え、なんで飲んでるの。</li></ul>			
<p><b>女王様</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・このままでは恥をかかせてしまうと、考えて何とかしないと考える優しい人。</li><li>・自分が恥をかいても、お客様のために行動する、思いやりのある人</li></ul> <p><b>伝える場面</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・よく知っている人や、一対一なら伝えた方が良い</li></ul> <p><b>伝えない方が良い場面</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・初対面の人や人数の多い時は伝えない方が良い</li></ul> <p><b>振り返り</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・自分よりも相手のこと</li><li>・間違えていることや失敗を言わないことも優しさなので、その時の様子で使い分ける。</li></ul>				